

**■施工される方へのお願い**

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 警 告…取付けを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意…取付けを誤った場合、使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警 告

※製品落下及び転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●躯体への固定

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・躯体に固定する部材・部品は必ず指定のタッピンねじで柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。
- ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・独立で取付けず、必ず躯体に取付けてください。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてください。

●縦格子・支柱・躯体のすき間について

- ・縦格子・支柱・躯体のすき間が100mm以上超えないように縦格子パネル・支柱を取付けてください。

⚠ 注 意

※製品倒壊のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●基礎について

- ・基礎は指定寸法以上にしてください。
- ・コンクリート・モルタルには急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。

※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。

- ・柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ10）をあけてください。
- ・養生期間は充分（4日～1週間以上）とり、その間重いものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

●施工上について

- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・みだりに改造・変更をしないでください。
- ・取付けは専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因になることがあります。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

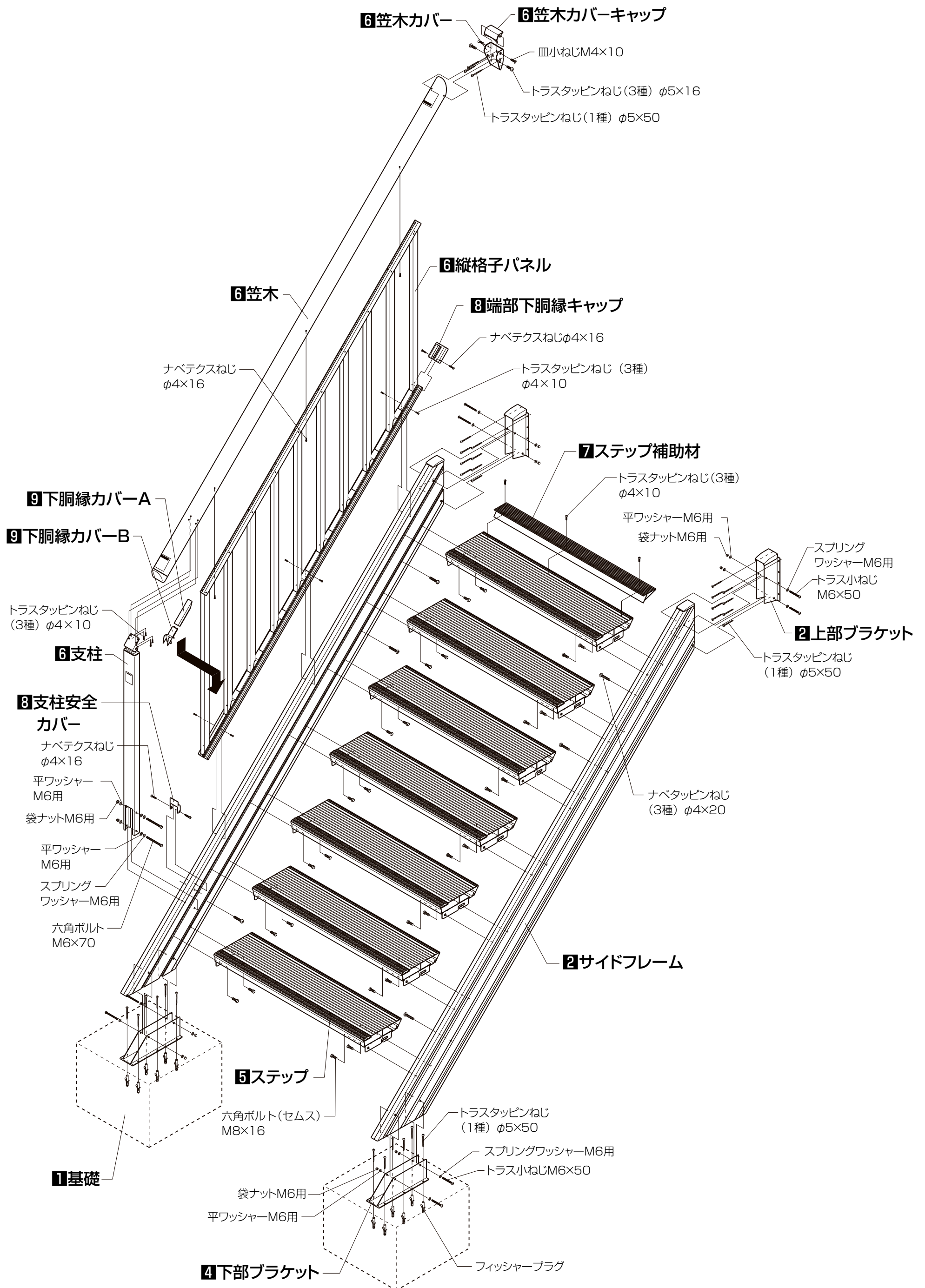
※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

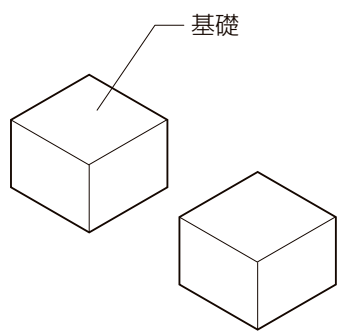
■施工上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

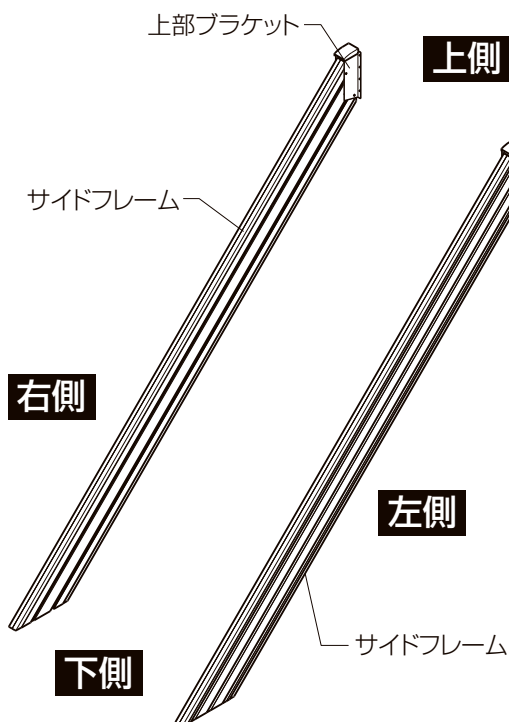


■取付け順序

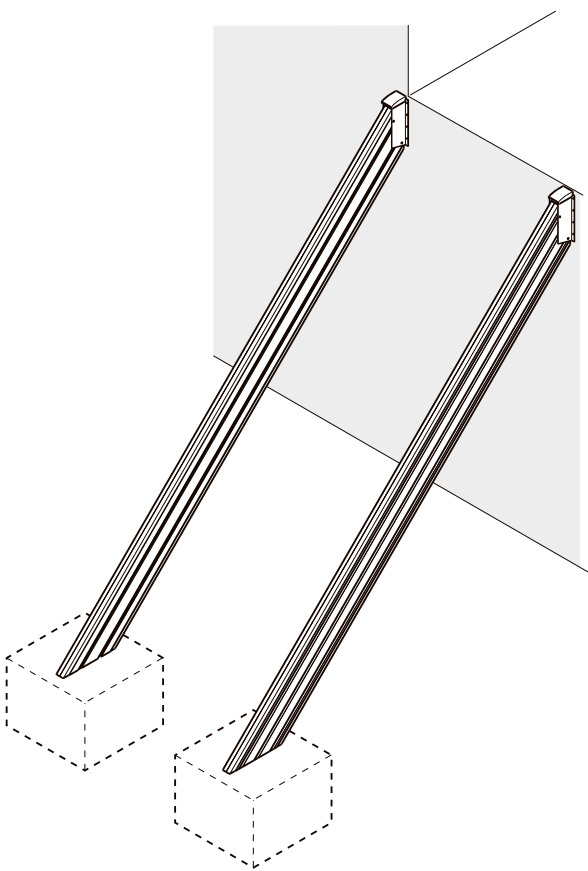
1基礎の施工



2サイドフレームと上部ブラケットの取付け



3踊り場への取付け



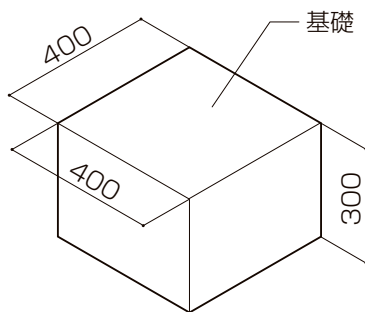
■取付け詳細

1基礎の施工

- 図の寸法以上で基礎を施工してください。

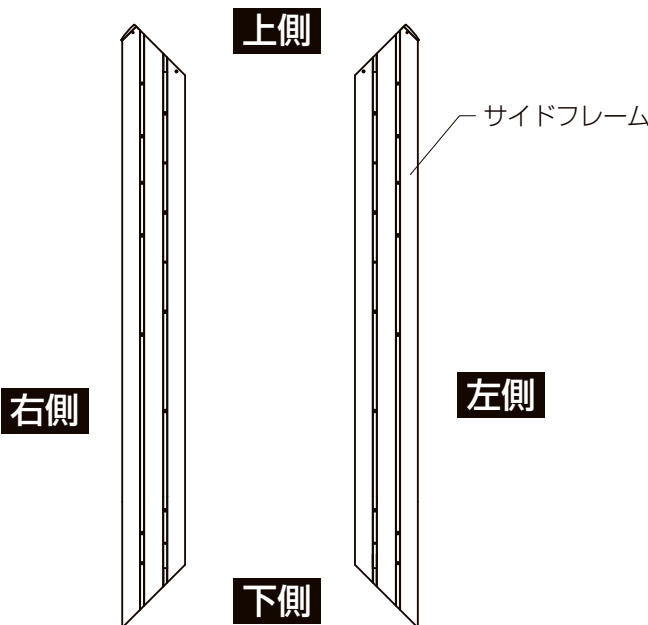
▲ 注 意

- 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにしてください。
- コンクリート（又はモルタル）に急結材は絶対に使用しないでください。
- 海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものを使用ください。



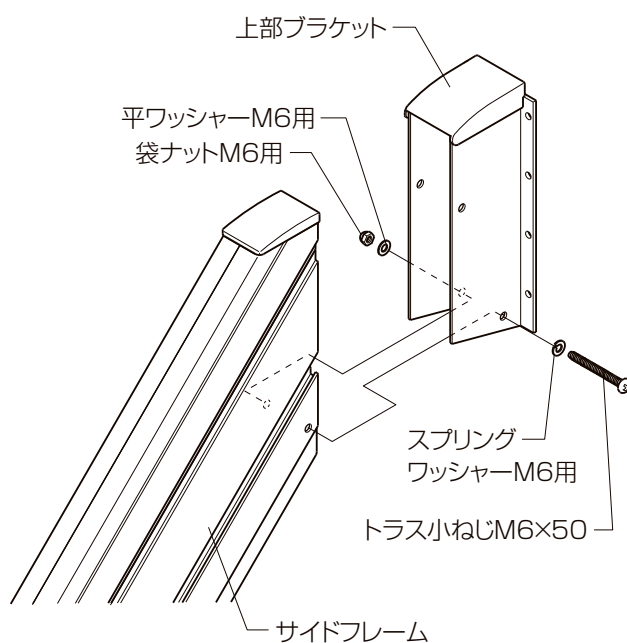
2サイドフレームと上部ブラケットの取付け

- ①図のようにサイドフレームの穴加工している方を向かい合わせるように配置します。



※左右は階段上から見て内観視で表示しています。

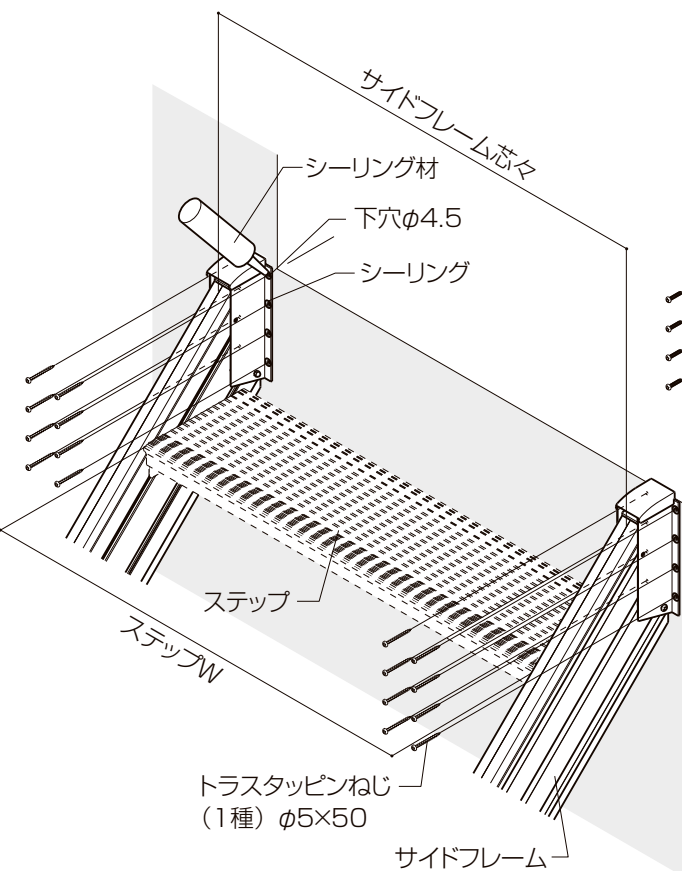
- ②図のようにサイドフレームに上部ブラケットをはめ込み、ねじで仮止めします。



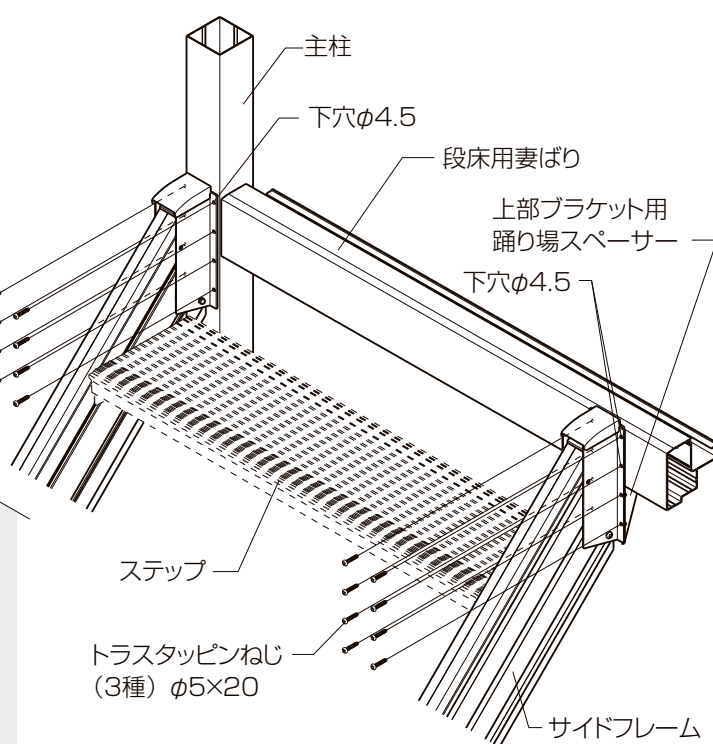
3踊り場への取付け

- 踊り場の仕様に合わせて図のようにサイドフレームを取付けてください。
- ※サイドフレームの内側にステップが取付けられるようにサイドフレームの間隔を調整して取付けてください。
(サイドフレーム芯々=ステップW+40)
例：ステップWが820mmの場合サイドフレーム芯々は860mmです。

<造り付けの踊り場を取付けの場合>



<ステッピアの踊り場を取付けの場合>

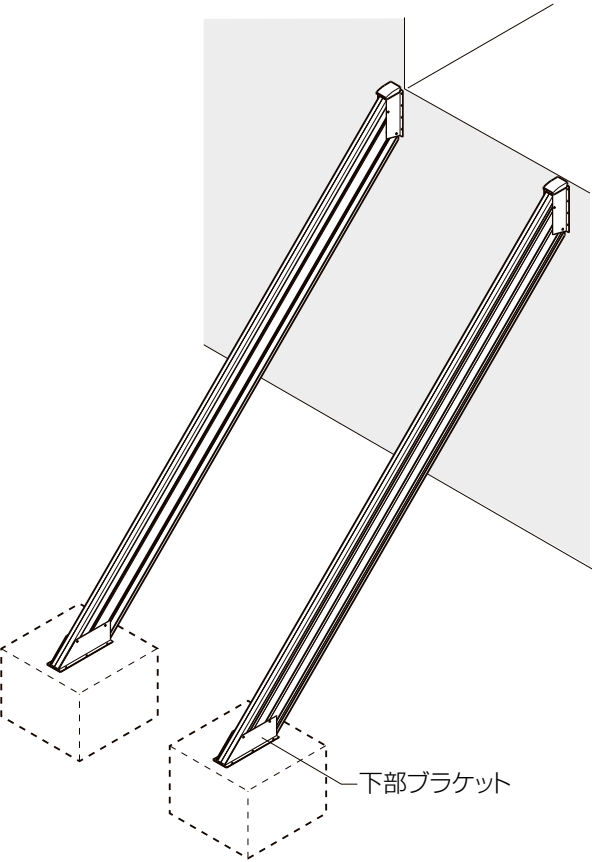


※本図は踊り場Aタイプとの接続方向になります。他のタイプの取付け詳細については別途「ステッピア取付け説明書（踊り場）」をご覧ください。

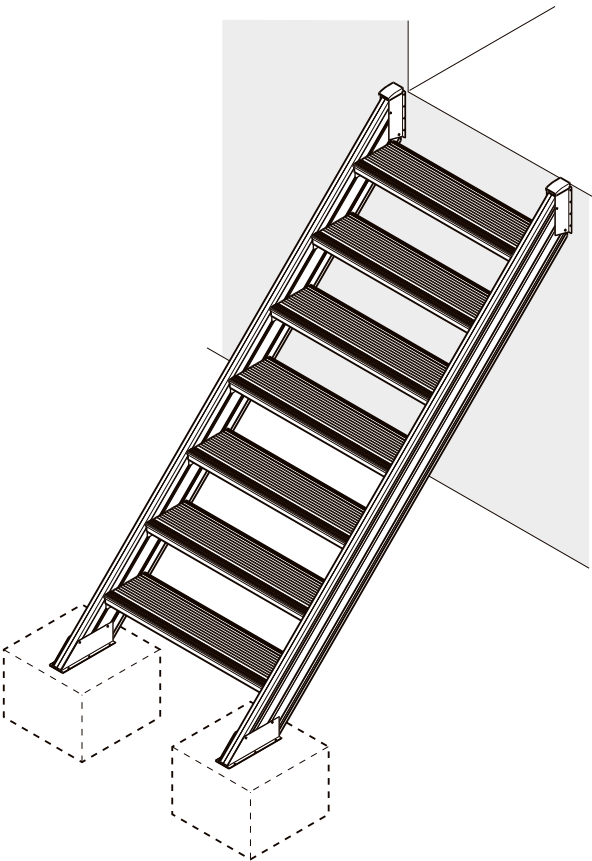
▲ 警 告

- 躯体に固定する部材・部品は必ず指定のタッピンねじで柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

4 下部ブラケットの取付け・
角度調整

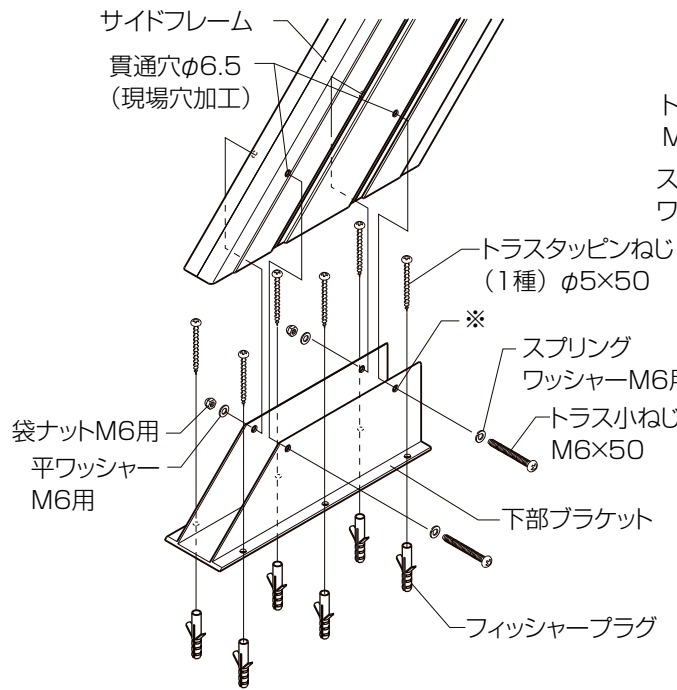


5 ステップの取付け



4 下部ブラケットの取付け・角度調整

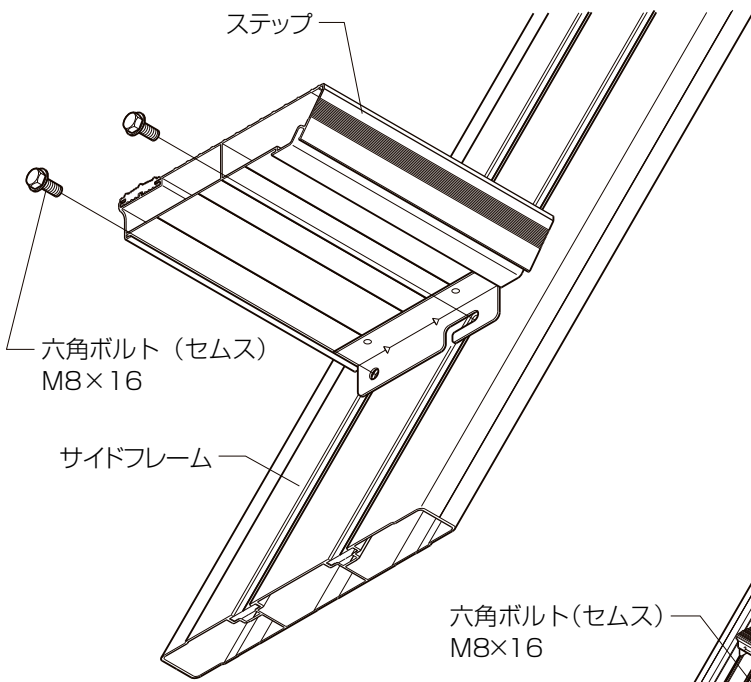
①図のように下部ブラケットをサイドフレームに固定してください。



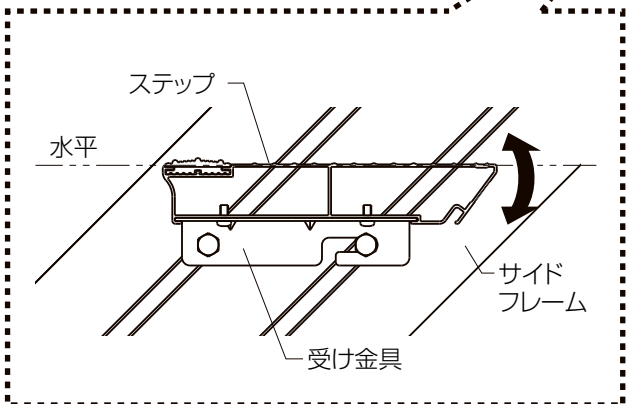
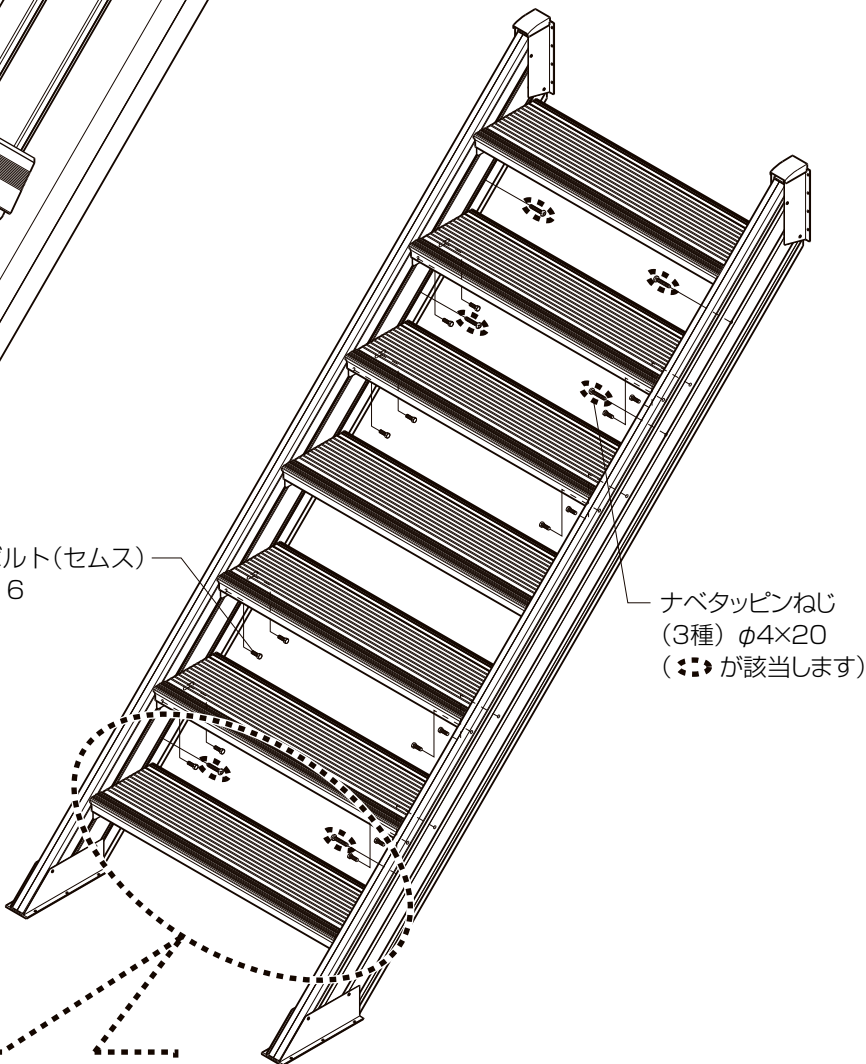
※下部ブラケットのこの穴はあらかじめ部品にはあいておりません。サイドフレームを固定できる場所に穴あけを行ってください。

5 ステップの固定

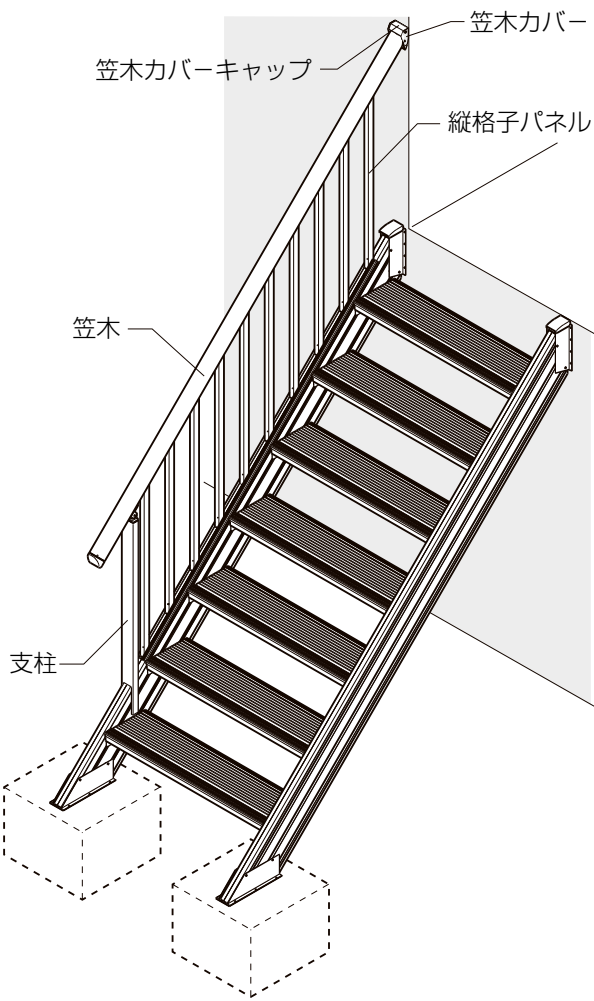
①図のようにステップの受け金具とサイドフレームを
ボルトで仮締めします。



②ステップを回転させて、水平を確認してス
テップとサイドフレームを本締めした後、ア
タッチメントとサイドフレームをねじ止めて
固定してください。



6 笠木・縦格子パネル・支柱・笠木カバーの取付け



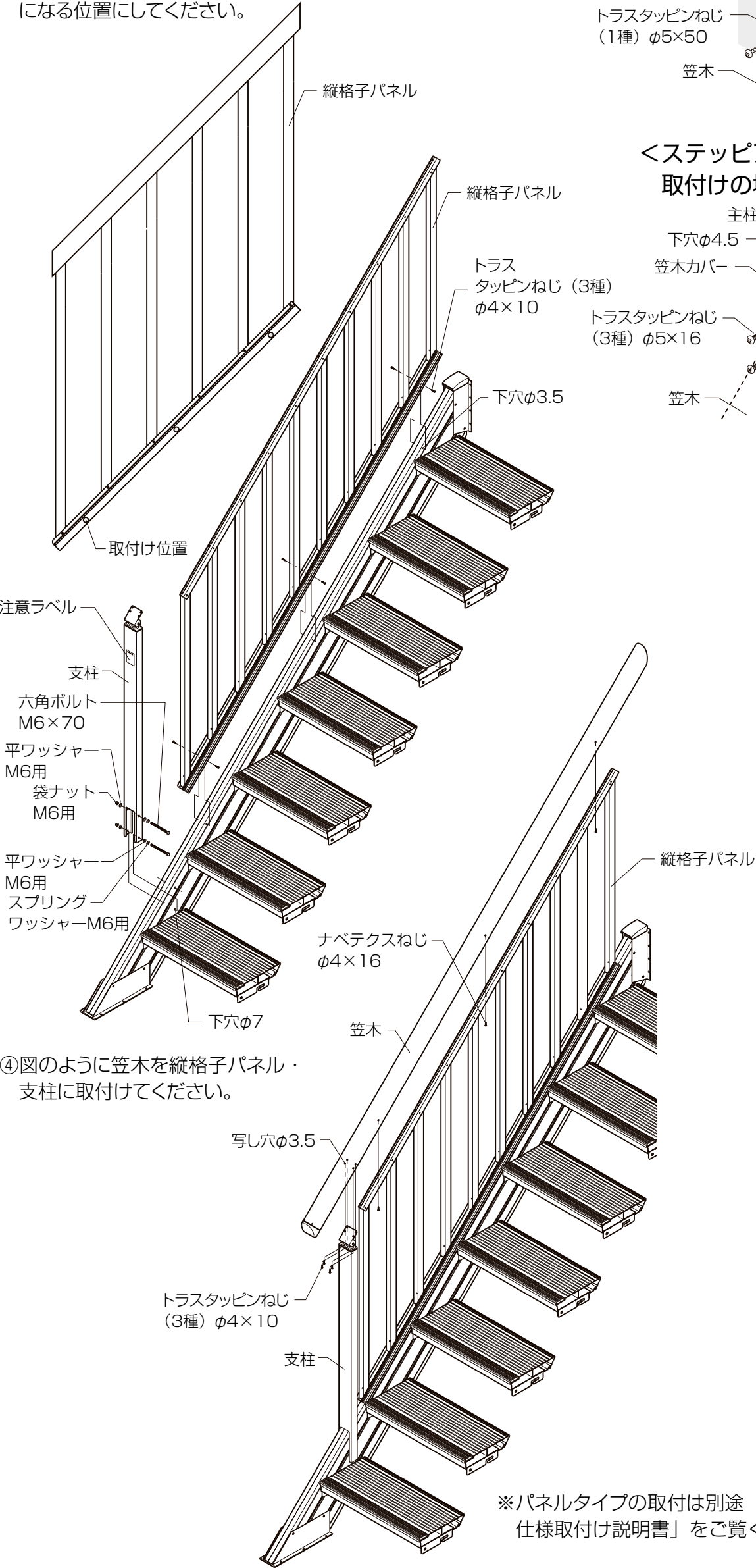
6 笠木・縦格子パネル・支柱・笠木カバーの取付け

- ①図のように縦格子パネル・支柱をサイドフレームに取付けてください。
②支柱の目に見える位置に注意ラベルを張ってください。

警告

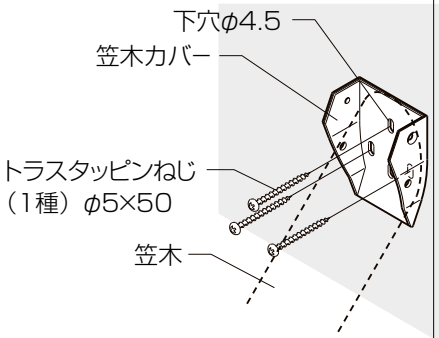
● 躯体・縦格子パネル・支柱の間隔は100mm以内になるように取付けてください。

※縦格子パネルをサイドフレームに取付けるねじの位置は下図のように両端と中央で、それぞれ格子と格子の真中になる位置にしてください。

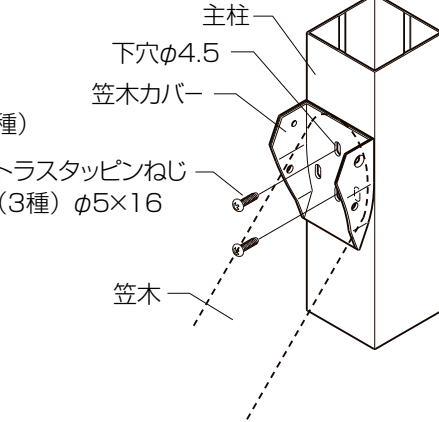


- ③踊り場の仕様に合わせて図のように笠木カバーを取付けてください。
※笠木をあてて、笠木カバーの取付ける高さを調整してください。

＜造付けの踊り場に取付けの場合＞

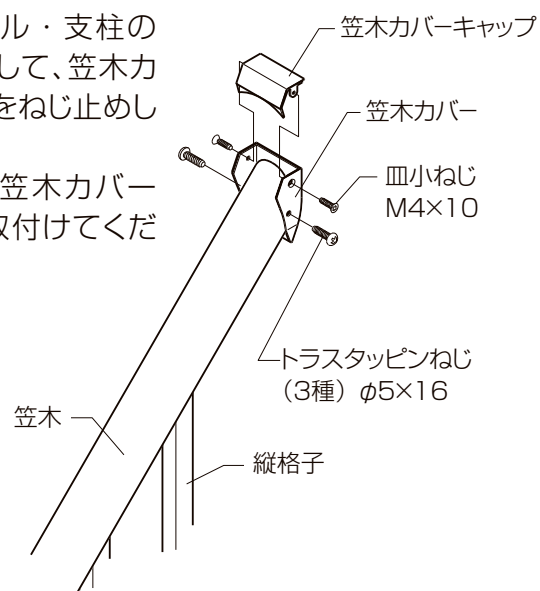


＜ステッピアの踊り場に取付けの場合＞



※パネルタイプの取付は別途「ステッピアパネル仕様取付け説明書」をご覧ください。

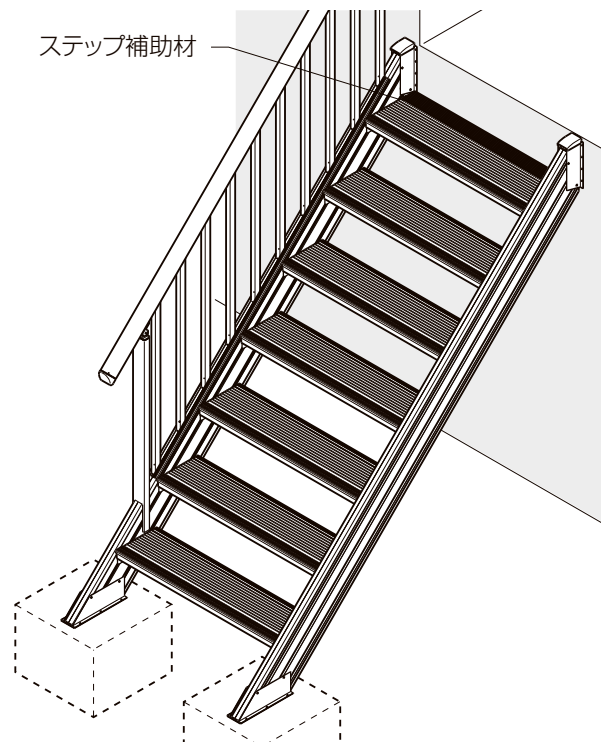
- ⑤縦格子パネル・支柱の垂直を確認して、笠木カバーと笠木をねじ止めしてください。
- ⑥図のように笠木カバーキャップを取付けてください。



⚠ 警告

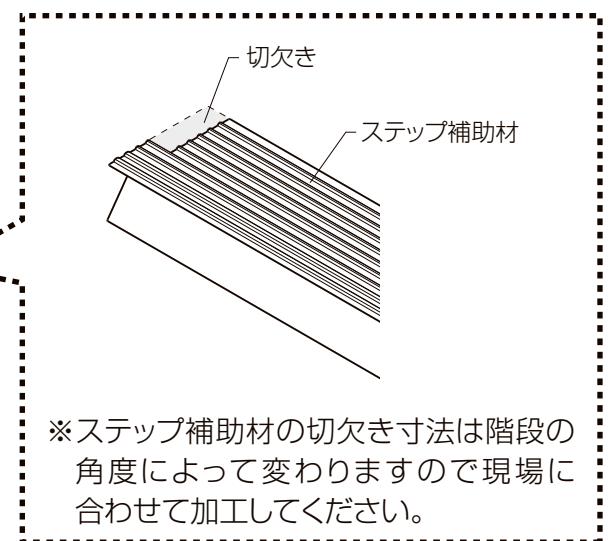
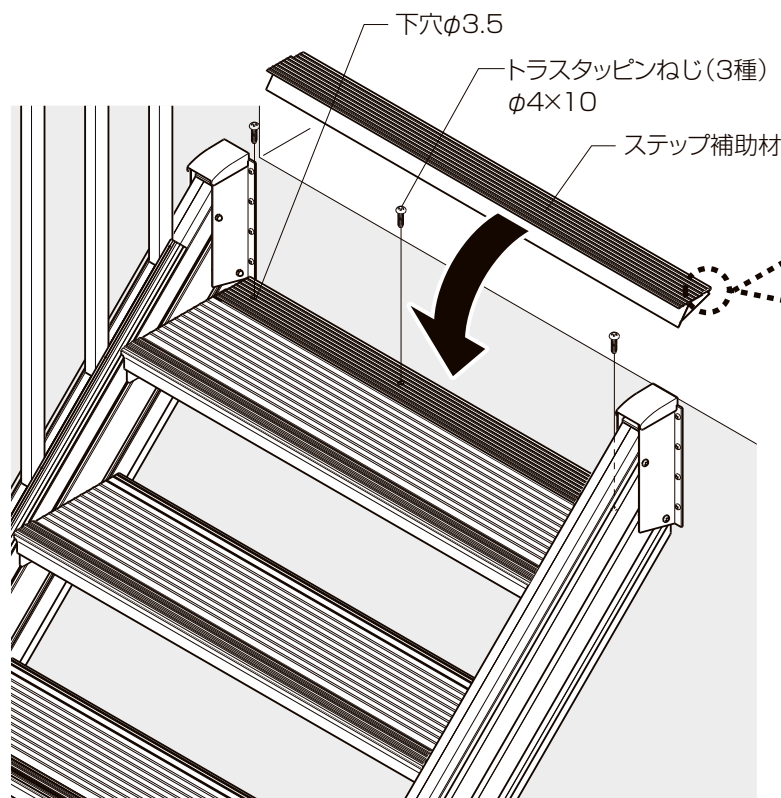
- 躯体に固定する部材・部品は必ず指定のタッピンねじで柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

7 ステップ補助材の取付け

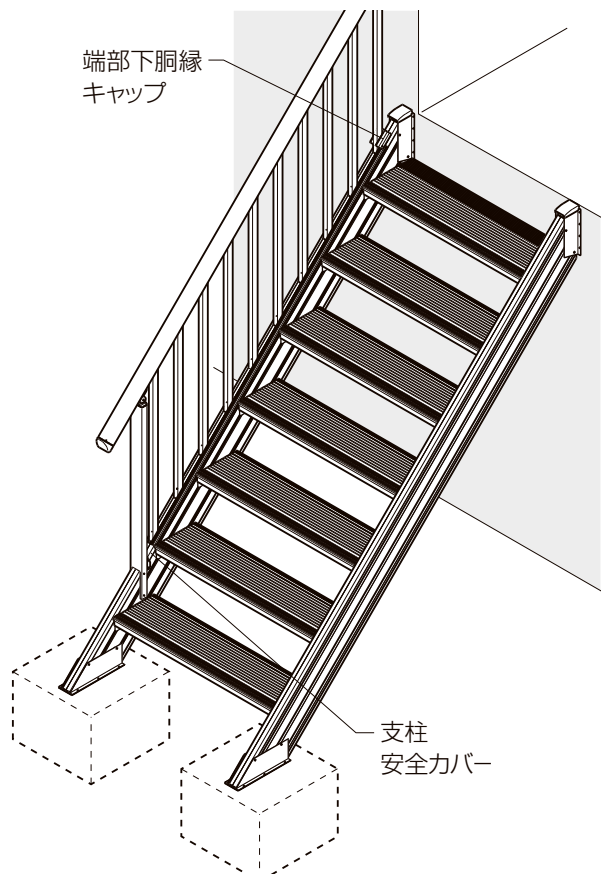


7 ステップ補助材の取付け

- 最上部のステップとステップ補助材に下穴φ3.5をあけて、図のようにねじ止めしてください。

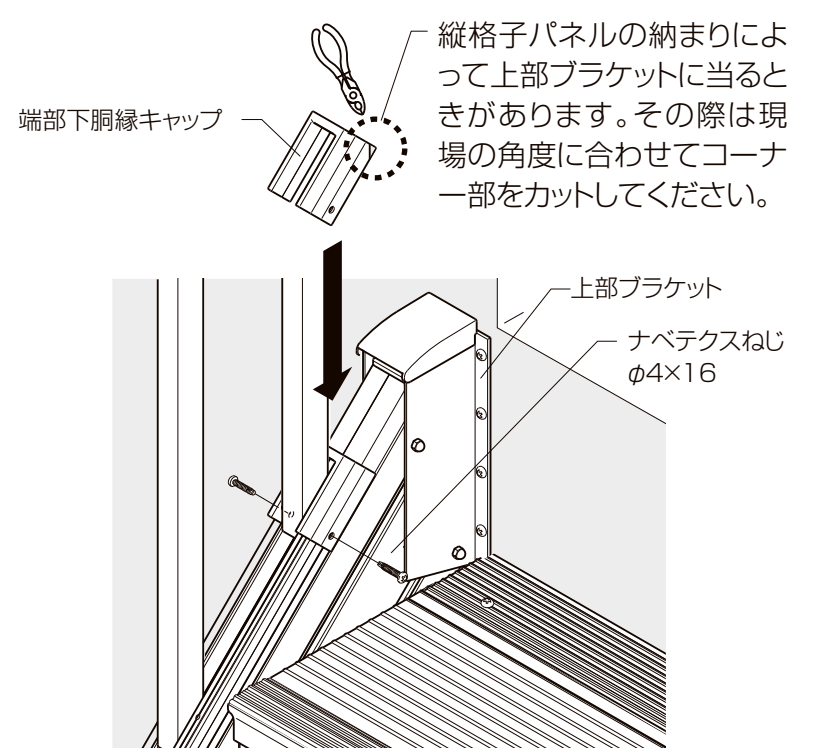
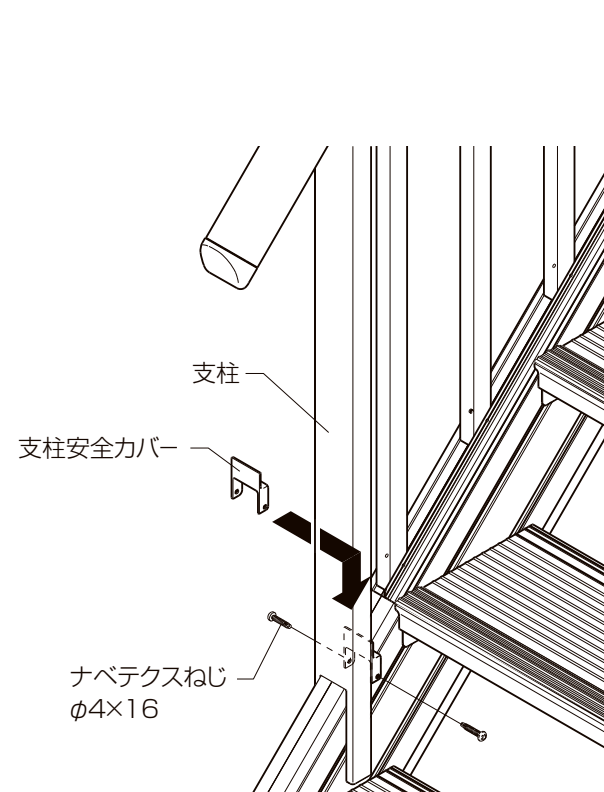


8 安全カバーの取付け

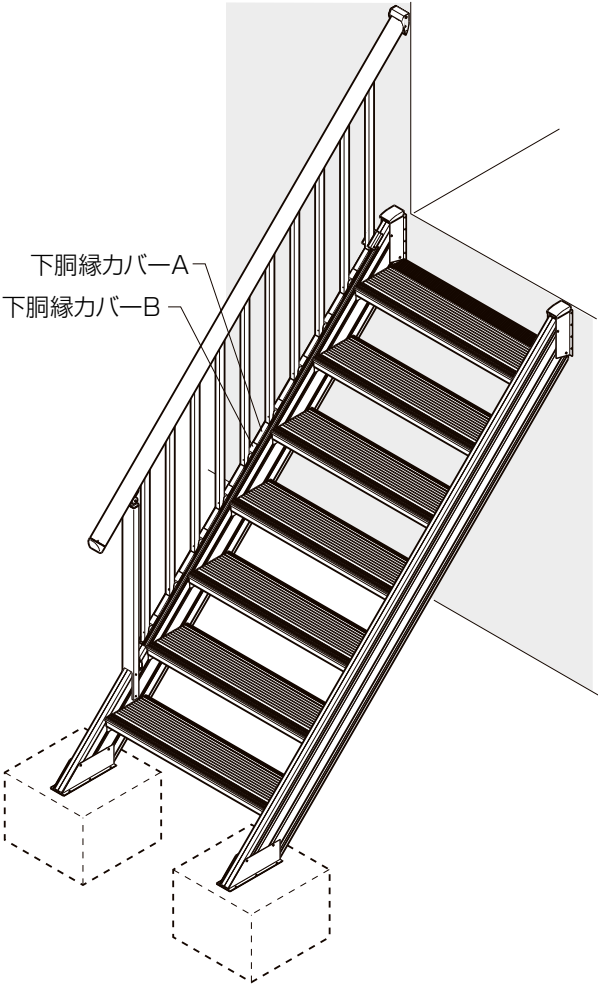


8 安全カバーの取付け

- 図のように支柱安全カバーと端部下胴縁キャップを取付けてください。

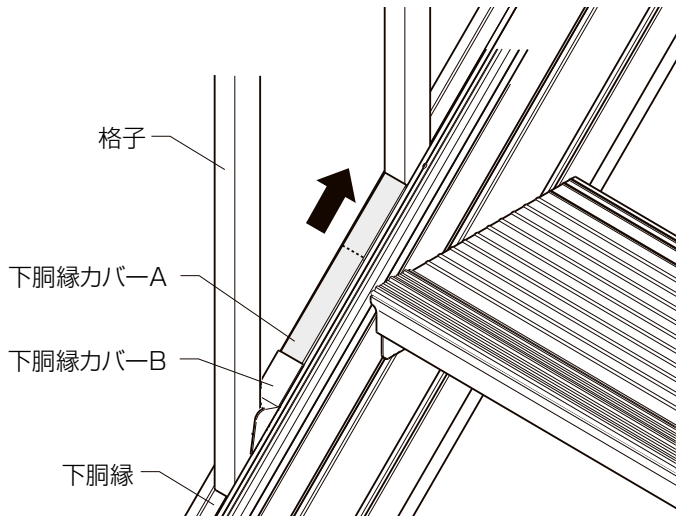
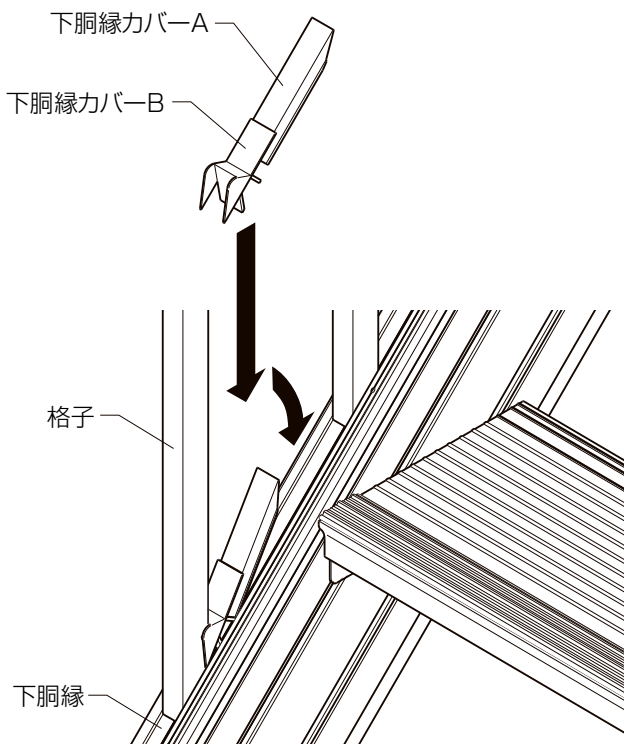


9 下胴縁カバーの取付け



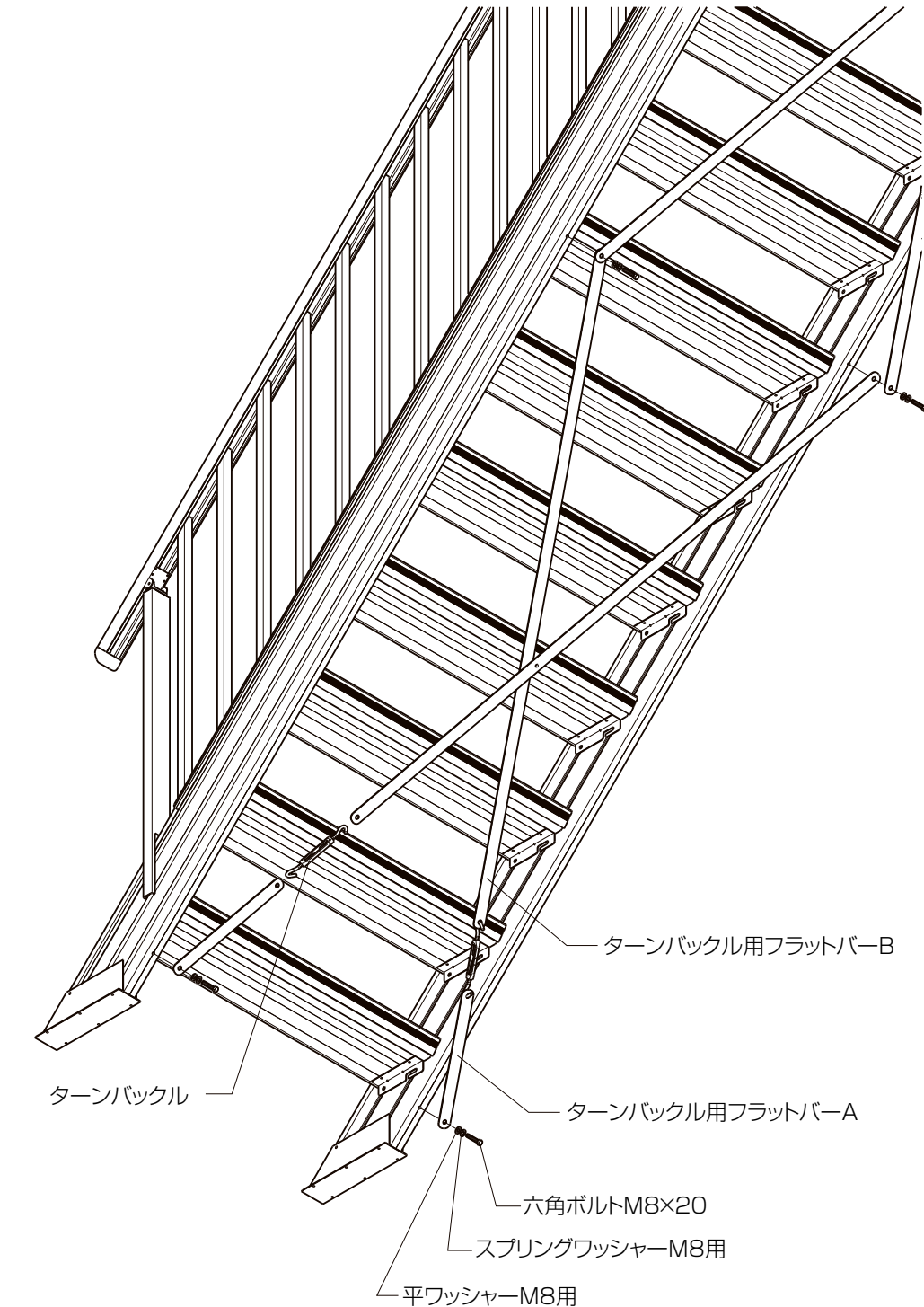
9 下胴縁カバーの取付け

- ① 下胴縁カバーAとBを組合わせ、下胴縁の溝に押し込み下側の格子に当ててください。
- ② 下胴縁カバーの溝にすき間ができないように下胴縁カバーをスライドさせてください。

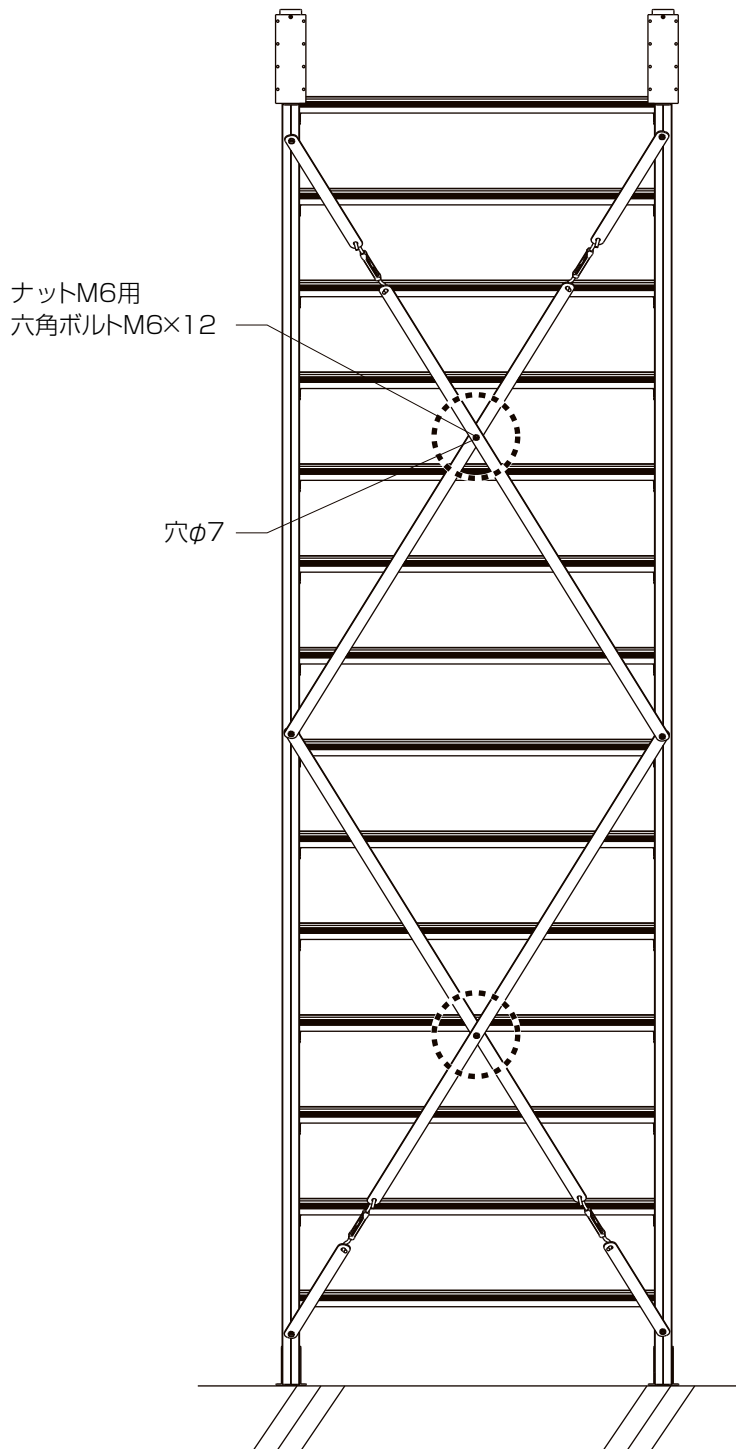


■ ターンバックルの取付け（4500タイプ以上の場合）

- ① 図のようにターンバックルを取付けてください。



- ※ ターンバックルの締付けは、上下が均等になるように締付けてください。
- ② ターンバックル用フラットバーBが交わる場所にφ7の穴をあけボルトで固定してください。



●正面図

